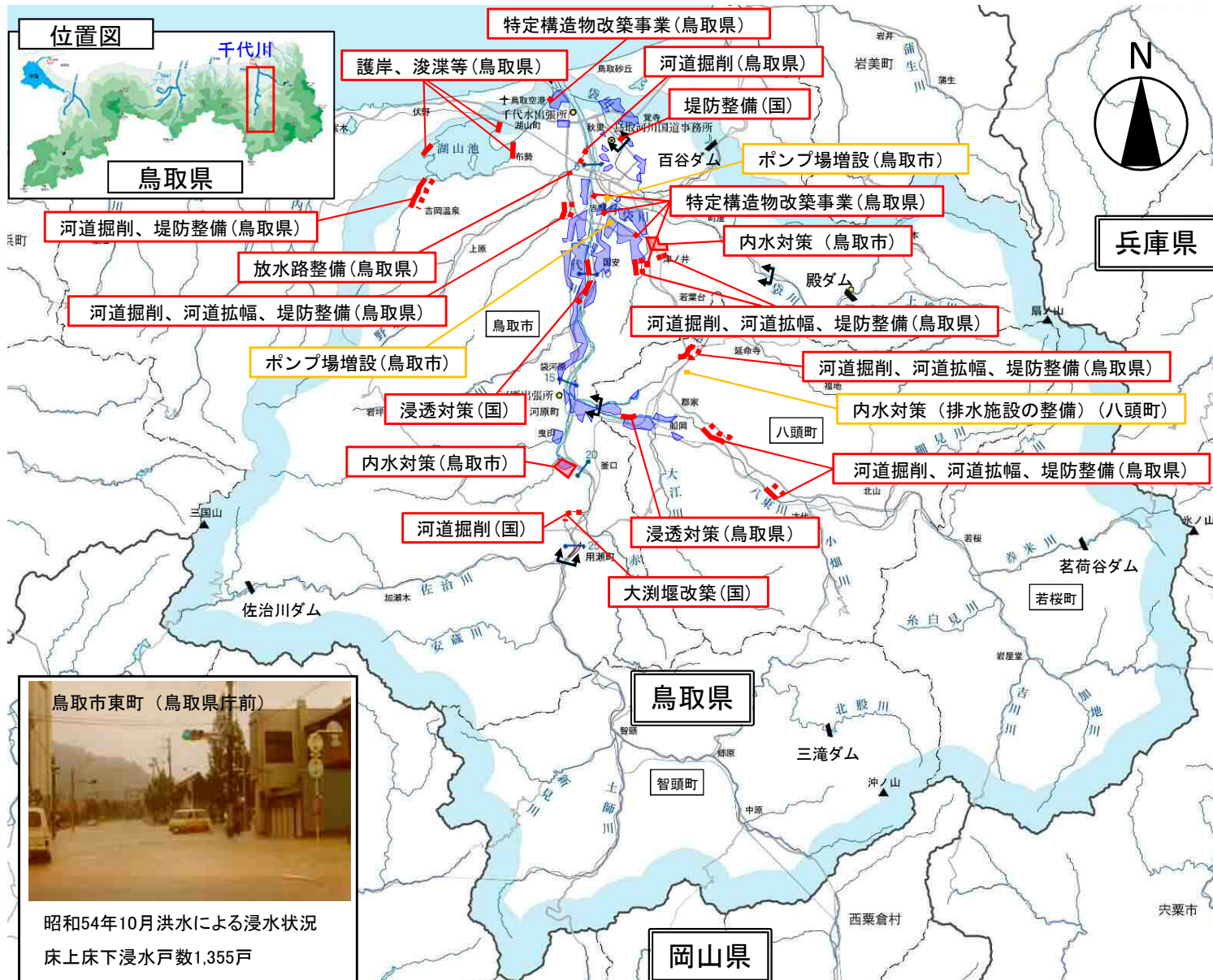


千代川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、千代川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和54年10月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



■河川における対策
 対策内容 河道掘削 河道拡幅 堤防整備 堰改築
 放水路整備 浚渫 等

■流域における対策
 ・利水ダム等を含む5ダムにおいて事前放流等の実施（関係者：国、鳥取県、中国電力(株)）
 ・ポンプ場増設、下水道等の排水施設の整備 等
 ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策
 ・水位計・監視カメラの設置
 ・マイ・タイムラインの作成
 ・支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
 ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
 ・あんしんトリプルメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
 ・要配慮者が確実に避難できる避難計画作成等の支援
 ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
 ・内水ハザードマップの作成 等
 ※今後、関係機関と連携し対策検討

凡例

- 堤防整備
- 堤防強化(浸透対策等)
- 樹木伐開・河道掘削等
- 大臣管理区間における浸水実績(戦後最大の昭和54年10月洪水)
- ↻ 大臣管理区間
- 千代川流域界



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。